



2022年11月9日

各 位

会社名 富士ソフト株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 坂下 智保  
(コード番号 9749 東証プライム市場)  
問合せ先 経 営 財 務 部 長 小西 信介  
( T E L 0 4 5 - 6 5 0 - 8 8 1 1 )

### 子会社における通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である富士ソフトサービスビューロ株式会社は、2022年5月11日に公表した業績予想及び1株当たり配当予想を別添のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績への影響は軽微であります。

以 上



2022年11月9日

各 位

会 社 名 富士ソフトサービスビューロ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 諭  
(コード番号：6188 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役 管理本部長 鈴木 久美  
(TEL. 03-5600-1731)

### 通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月11日に開示いたしました2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の業績予想および1株当たり配当予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期業績予想の修正について

##### (1) 2022年12月期 通期業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,200	580	580	401	29.97
今回修正予想 (B)	11,500	650	648	416	31.42
増減額 (B - A)	1,300	70	68	15	—
増減率 (%)	12.7	12.0	11.7	3.7	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	9,345	573	572	380	28.18

##### (2) 修正の理由

当社では、「特化型コールセンターを中心としたBPO業務の積極展開」を課題に、「官公庁系ビジネス」、「ITヘルプデスク」、「金融系オフィスサービス」を成長の3本柱としてサービスの拡大を図ってまいりました。

通期における売上高につきましては、下期における新規予定案件の不確実性等を勘案した結果、前回発表数値を据え置いておりましたが、地方自治体の新型コロナウイルス感染症対策に関連する期間限定の外部委託需要が下期においても継続して推移していることから、前回発表予想を上回る見通しとなっております。

利益につきましても、同様に新規予定案件の不確実性および第2四半期以降に環境整備に伴う投資や大型案件の立上げ費用などの増加が見込まれたことから、前回発表の業績予想値を据え置いておりましたが、増収および大型案件の立上げが順調に進んだことから、前回発表予想を上回る見通しとなっております。

以上により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益を修正いたします。

## 2. 1株当たり配当予想の修正について

### (1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想	3円00銭	3円00銭	6円00銭
今回修正予想	-	4円00銭	7円00銭
当期実績	3円00銭	-	-
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	3円00銭	3円00銭	6円00銭

### (2) 配当予想修正の理由

当社は、配当につきましては、企業体質の強化のために必要な内部留保・投資を総合的に勘案した上で、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、今回の業績予想の修正を踏まえて、当期の期末配当予想を直近の配当1株当たり3円から1円増配し、1株当たり4円に修正いたします。

これにより、2022年12月期の年間配当金は7円となる予定です。

当社では、今後とも大型案件で培ってきたノウハウを活かし、「専門性」「品質」に重点を置いた「特化型コールセンターを中心としたBPOサービス」を積極展開し、売上基盤の拡大を図るとともに、効率的な業務運営を推進し、中長期的に安定した経営基盤を構築してまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上